

小川町立小中学校再編計画（長期計画）案に対するご意見 及び ご意見に対する考え方について

- パブリックコメントの募集期間 : 令和4年12月1日(木)～令和5年1月4日(水)
- 閱 覧 場 所 : 町ホームページ、教育委員会学校教育課、各公民館、
図書館、ココット（小川町子育て総合センター）、
小川町総合福祉センター（パトリアおがわ）
- 提 出 方 法 : ①郵送・持参 ②FAX ③電子メール
- ご意見の提出者数 : 6人
- ご意見の件数 : 6件

小川町 ・ 小川町教育委員会

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
1	<p>小川町中学校の再編について意見を述べさせていただきます。</p> <p>令和7年に西中学校と樺台中学校の統合 令和12年に樺台中学校と東中学校の統合についてです。</p> <p>西中学校は新設小学校に 樺台中学校は新設中学校になると思います。ですが東中学校を廃校後の利用方法が示されていないと思いますので、その利用方法についての意見を述べさせていただきます。</p> <p>[1]利用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東中学校の位置に総合運動施設を設置 ● 東中学校の校舎内に博物館を設置 ● 東中学校の校舎内にカフェを設置 ● コワーキングスペースの設置 <p>[2]理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東中学校の位置に運動場を設置 <p>現在運動ができるところが少ないのが問題点だと思っております。仙元山のみはらしの丘公園 総合運動場等と数えられるほどです。小さな公園は多数ありますが子供がのびのびと遊べる環境ではございません。そこで東中学校に運動場を設置することでニーズに答えられると思います。</p> <p>現在、比企郡内にアスレチック・運動場・各スポーツ施設を揃えた施設はございません。東中学校の運動場の一部にアスレチックを設置することで園児や小中学生やその親を集められますし、テニスコートや体育館もありますので総合運動施設にするのはそこまで費用がかからないと思います。</p>	<p>学校施設の再編後の在り方について、具体的な意見をいただきありがとうございます。</p> <p>学校施設の跡地活用につきましては、町全体として、その活用方法の具体を検討していくものと考えております。ご意見として賜り、再編後の学校施設に関しては、有効な活用について検討してまいりたいと存じます。</p>

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
	<p>アスレチックの設置費用はかかりますが、使用料で費用は回収できると思います。また総合運動施設を維持したり管理するのに雇用を創出できます。</p> <p>使用料の例です。↓</p> <p>○平日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生以下→200 円 ・ 中学生→300 円 ・ 高校生→700 円 ・ 大学生以上→1000 円 <p>○休日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生以下→無料 ・ 中学生→200 円 ・ 高校生→600 円 ・ 大学生以上→900 円 <p>また主に休日が利用メインになると思われますので、雇用創出したとしても従業員の人数を少なく抑えることが出来ます。町が自由に料金を設定できると思います。</p> <p>実際にスポーツをしたくても出来ないのが現状です。それを小川町が担うことで子育て層の流入や活性化にも繋がると思います。</p> <p>グラウンドではアスレチック・ランニング・他球技ができ、体育館ではバレーボール・バスケットボールなどができると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東中学校の校舎内に博物館を設置 <p>東中学校は遺跡の上に校舎が建っているためその遺跡についての</p>	

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
	<p>博物館を設置できます。利益は少ないと思いますが費用も少なくて済むため、また校舎の再利用もできるためやるべきです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東中学校の校舎内にカフェを設置 小川町は有機栽培が全国をみても有名です。それを活かさない手はありません。そこで東中学校内にカフェを新設します。そこで販売するものは全て小川町で採れた野菜や果物で出来た物です。そうすることで更なる小川町の農業の発展や有機栽培の宣伝などにも繋がると思っています。 ● 東中学校の校舎内にコワーキングスペースを設置 元々が学校なので机や椅子など必要なものが揃っているため費用も少なくて済むため有意義だと思えます。 利用費や年間パスなどを作ることで利益にも繋がると思っています。 以上のことを御検討していただけるとありがたいです。 	
2	<p>令和5年1月1日小川町長島田康弘殿へ学校再編計画を長期ではなく早期に実行することを希望します。</p> <p>現在の少人数での学習にも良いところがたくさんあるとは思いますが、小学生からは幼稚園、保育園よりもさらに集団生活を学ぶことが大切になってくると思っています。</p> <p>また教員の方々の負担を考えたうえでも小規模に学校が分散することは個人への仕事が増え非効率になると思っています。</p> <p>未来を担う子供達の視野を広げ可能性を伸ばすためにも、可及的速やかな実行をご配慮賜りたくよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>子どもたちのための本計画の早期実施について、ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>町・町教育委員会といたしましても、本計画の実行は、早期に実施することにより、教育環境の改善が早期に図られていくものと考えております。</p> <p>再編に伴う子どもたちの心身に対する負担に配慮しながら、教育環境に過度な負担を生じさせない範囲において、早期に実施してまいりたいと考えております。</p>

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
3	<p>これから町内の学校に子供を通わせる予定の者です。再編計画について、決して賛成という訳ではありませんが、やるのであれば最善を尽くしてほしいという意見です。</p> <p>まず、子どもの人口減についてですが、近年ようやく小川町の良さをアピールしたり、移住者を増やしたりしようという好ましい動きが出てきましたが、はっきり言って遅すぎだと思います。子どもの数を増やすためには、子育て世代に定住してもらう必要がありますが、小川町はこの数十年間、近隣の自治体に比べて人口を増やす、あるいは流出を防ぐ努力をしてこなかったように感じます。自分自身も小川町育ちですが、同級生の多くが小川町から離れています。和紙や有機農業をアピールすることも決して悪いことではないですが、せめてこれ以上子どもの数を減らさないよう、そして可能であれば子どもの数を増やすような政策に今まで以上に取り組んで頂くことを強く期待します。再編計画案には、各々の学校の入学予定者数が記されていますが、子育て世代にとって魅力のない町だと、更に流出していくことも考えられます。「7つの祝い」などの行事を行う予算があるのなら、その分を人口増につなげる政策に使ってほしいです。</p> <p>次に、保護者負担についてです。町内の小学校は通学の際に待ち合わせ場所があり、そこまで保護者が一緒に付き添い、帰りも1人になったら必ず保護者が付き添うという話や、欠席連絡も通学班にお願いするような話を聞いています。これではフルタイムで共働きの世帯ではかなり厳しく、またフルタイムで働いている片親の場合、仕事との両立は不可能に近いのではないのでしょうか？子どもの安全に配慮すること</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>子どもの人口減少については、計画案にお示した推移のとおり、小川町においても大きな課題の一つであると捉えております。移住支援に係る施策については、当町におきましても、移住サポートセンター事業や、移住支援策に関する補助金制度等、各種施策を実施しているところですが、人口減少の課題解決に向けては、継続した検討を要する構造的な課題であると捉えております。</p> <p>通学に伴う保護者の方へのお願いについては、児童の安全を最優先に考え、決まりごとを設けています。保護者・地域・学校の連携により、子どもたちの安全確保を確実に実施してまいりたいと考えております。保護者の皆さまには引き続き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>IT 機器の活用については、GIGA スクール構想に象徴される学校におけるICT活用は、今後の教育においても重要性の増すものと捉えております。より円滑な学校教育活動のためにも、より良い活用を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>通学に係る在り方の具体については、今後の統合準備段階において、統合準備委員会を中心とし、各関係者間での協議・調整を行い決定してまいりたいと考えております。</p> <p>教員の配置については、子どもたちの心のケアの観点からも、円滑な再編が図られるよう、適切な配置を行ってまいりたいと考えております。</p>

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
	<p>は何よりも重要だと思いますが、新校では昨今の家族形態をしっかり認識して頂いた上で、IT 機器を活用するなど保護者負担が少なくなるようなルール作りをお願いします。学童保育所などについても、共働きや片親の家族もいることを念頭に、なるべく遅い時間まで預かって頂けたり、長期休業中も長時間預かって頂けたりするような施設を希望します。また、部活動や PTA など、本来任意のものを強制するようなことのないようにお願いしたいです。特に近年問題になっている PTA については時代に合わせて業務をスリム化したり、できないものは外部委託したりするなど、保護者が無理なく参加できるようなものにしてくださることを要望します。</p> <p>最後に教育活動についてですが、再編に伴って、子どもたちにとってなるべく不利益が生じることのないようにして頂きたいです(そもそも再編自体が子どもたちにとって大きな不利益なのですが)。通学バスについては無料で運行し、再編後の学校では何かとトラブルが生じる可能性が高いと思いますので、臨時的任用などではなく、経験豊富な正規の先生を豊富に配置するなどの措置をお願いしたいです。部活動についても、外部指導者を活用するなどし、統合前に入っていた部活動ができなくなるようなことのないようにしてください。また、中学校が現在の檮台中の場所に統合されるとのことですので、多くの生徒が自転車通学になることが予想されます。帰りは下り坂になり、かなりスピードが出てしまうと思われますので自転車が安全に通行できるよう専用のレーンを設けるなどの安全対策を万全にしてください。</p> <p>統合した学校に入った生徒たちに、「損した」「嫌だった」などと言わ</p>	

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
	れないような学校づくりを要望します。よろしくお願いします。	
4	<p>再編計画は仕方ないと思いますが、今後は人口増加のため子育てに力を入れて頂きたいです。子育て世代は小学校入学前に住む場所を決めることが多いため、小中学校は小川町の魅力を最大限に生かした教育を取り入れてください。例えば有機の里らしく給食には有機野菜を活用し、安心安全でおいしい給食が食べられるようにしてください。農業体験は今も行われていると思いますが、一年を通して農作業に関わりあらゆるものが循環していくということを実感できる教育を希望します。天候や行事の関係で難しいこともあると思いますが、稲作であれば田植えや収穫だけでなく、土づくりや米ぬかや藁の活用などを通してあらゆる循環を学んでほしいです。さらに凶工の時間等に、小川町の山を守り資源を活用するためのものづくりを行うなど、地域の問題を解決する方法も一緒に考えた授業を行ってほしいです。さらに近年「ブラック校則」が話題になっていますが、特に中学校では髪型や制服やカバン等について、多様性や LGBTQ に配慮した、昨今の潮流に合った校則にしてください。これからの教育において重要ではないかと考えられている、農業やものづくりという環境はすでに整っています。それらを活用し、さらに多様性や LGBTQ に配慮した学校づくりが出来れば、子育て世代にアピールできると思います。</p> <p>観光で他の市区町村から来てもらい、お金を落としてもらうことも大事ですが、そこから人々がこの町で子育てをしたいと思わせ人口を増やしていく必要があります。日本全体に言えることですが、目先の利益</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>教育活動において、地域の魅力の観点は重要であると考えております。当町では、小中学校の児童生徒と小川高校の生徒が、町の文化や歴史、産業等について理解を深め、地域活動への参画や地域課題の解決に取り組む「おがわ学」を実践しています。これを活かしながら、再編にあたりましても、教育活動がより良く展開していけるよう、取り組んでまいりたいと考えています。</p> <p>多様性の観点は、教育活動において非常に重要な点であると捉えております。学校活動の具体的内容等については、今後の統合準備段階において、統合準備委員会を中心とし、各関係者間での協議・調整を行い決定してまいりたいと考えております。</p> <p>人口減少については、計画案にお示した児童生徒数の推移からも傾向が読み取れるとおり、小川町においても大きな課題の一つであると捉えております。移住支援に係る施策については、当町におきましても、移住サポートセンター事業や、移住支援策に関する補助金制度等、各種施策を実施しているところです。人口減少は、継続した検討を要する構造的な課題であり、直接的な解決が非常に困難であると捉えておりますが、学校教育の観点からは、子どもたちにとってより良い教育環境・魅力的な学校づくりに全力を尽くしてまいりたいと考えております。</p>

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
	<p>や自分たちの世代が良ければいいと考えるのではなく、子供たちのことを考えなければ未来は変わりません。そして、子供や未来に投資することは、結局は自分たちにも返ってくることになります。人口が増え予算も増えれば、よりよいサービスが受けられるなど、子供や未来への投資が自分たちにも良い影響をあたえることを、もっと積極的に伝えていくべきです。そして子供たちにしっかり予算をまわせる雰囲気や町全体で作る努力をお願いいたします。OGAWA 'Nなどで培った、仕組みづくりと広報力を使えば出来ると思います。</p> <p>この再編は今後の小川町の未来を握る計画です。学校の枠組みだけでなく再編後にその学校で子供たちが何を感じ、学び成長していくかがとても重要です。ここでしか学べない教育が出来る小中学校を作るため、地域全体で様々なアイデアを出し、実行に移せる予算をしっかりと確保して、再編計画を進めてください。</p> <p>この長期計画における最終目標は、魅力的な小中学校を作り、人口を増やしていくことだと思えます。</p>	
5	<p>小・中学校共に、今までの少人数クラスの良さを失うべきではないと思います。生徒のケア、先生の負担 etc.統合されて1クラスの人数が増えることに不安を感じる。</p> <p>小川町の豊かな環境を生かした学校編成を考えて頂きたい。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>学校や学級の小規模化については、児童生徒の一人ひとりに目が届きやすいといった点にメリットがあるといわれます。一方で、学校や学級の規模を大きくすることにより、児童生徒が様々な学習を通して知識や技能を身につけるだけでなく、集団の中で関わり合いを深め、様々な考えに触れ、認め合い・協力し合うこと、また切磋琢磨し合うことができ、その中で思考力や判断力、問題解決能力、さらには社会性等を身に付けるという点に、教育的価値があるものと考え</p>

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
		<p>ています。</p> <p>統合準備、事前説明等により、不安の解消につながるような取組みを行ってまいりたいと考えております。</p>
6	<p>①将来の小川町像を見据えて、まちづくりと関連させて熟考を。</p> <p>小学校の立地は居住を考える上でも極めて重要である。今回の案では竹沢地区、八和田地区から小学校が無くなってしまう。子育て世代が居住し、住み続ける要素として、保育や教育の環境は必須である。「自然の恵みと文化を未来につなぐ」という町の将来像のためにも、現段階の児童生徒数や施設の老朽化を中心とした計画案に修正を求めたい。住み続けたい、移住したい、戻ってきたいと思える施策の展開を切に願う。</p> <p>2つの鉄道駅が立地し、世界のホンダ工場のある竹沢地区、関越自動車の IC がある八和田地区には、人口増を期待できる条件がある。例えば、区域区分を見直し用途地域を変更するなどして、里山や田園の環境下に田園居住住宅的な景観と農業の恩恵を受けられる住宅や用地を提供できるようにするなどの施策を展開できないか。そうすることで、社人研の人口推計を覆すことにもつながる。まずは、町長部局と話し合い、早急に施策を考えることが大切だと思う。できない理由を考えるのではなく、実現させるために何をすることが重要であり、町長の公約である「小川町復活」にもつながっていくと信じる。</p> <p>②説明会やパブリックコメントの意見を活かす方向で。</p> <p>行政施策実施のためには様々なステークホルダーの考えがあり、</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>本計画案は、児童生徒数の減少に伴う教育環境の劣化に対応するため、教育環境の改善を中心に据えております。その中において、児童生徒の安全安心と、教育効果の維持・向上を図ることを目的とし、学校施設の老朽化への対策を検討することとしており、施設の老朽化を中心に考えているものではありません。</p> <p>一方、学校再編が与えるまちづくりへの影響は大きく、重要な点であると捉えております。ご意見として賜り、まちづくりの観点からも、再編後の学校跡地の利用等、町として検討していきたいと考えております。</p> <p>地域コミュニティの中心であった学校が、地域からなくなることについては、大変大きな心配事であると認識しております。今回の計画案については、町としてより良い教育環境を整備するためのものであり、学校の所在地が遠方となってしまうことについては、スクールバスを運行するなど、適切に対応してまいります。ご理解賜りますようお願いいたします。</p>

No.	意見等の内容	ご意見に対する考え方
	<p>一致した意見を得ることは難しい。審議会委員や行政職員が気づかない内容や時間的に検討できなかった内容もあり、答申や事務局案を改めて見直すことは、特に後戻りのできない学校再編には極めて重要である。時間と労力がかかるかもしれないが、説明会時の意見やパブコメの内容を、行政施策実施のための形式的なものではなく、検討に値する内容は十分に議論する場を設けたり、住民意向調査等の実施もあるのではないかと。</p> <p>③小川町が小川町らしく持続可能な自治体であるために。</p> <p>将来の社会情勢は予測不可能な点も多いが、過去の行政施策の評価はできる。教育分野でも文科省のゆとり教育から学力重視に変わったこともここ数十年である。国の方針も変わるののである。</p> <p>小川町も、平成の大合併の際、近隣市町村と2回の合併協議会も立ち上がったが、実現に至らなかった。</p> <p>今回の再編計画の根拠となる文科省が示す基準は、一般的にはその通りであろう基準だが、但し書きにも「地域の実情その他により…」とあり、小川町が町の特色を活かした自治体として存続するためにも、今一度、小川町としての施策を検討頂けるとありがたい。</p>	

※ ご提出いただいたご意見については、原文のまま掲載しています。